

今城 TIMES

2023年 春号

発行元 今城かつひさ後援会事務所 TEL: 0721-68-7890
〒584-0082 富田林市向陽台2丁目7-29 FAX: 0721-68-7891 katsuhisa.imajo@gmail.com
向陽台ビル1階

現場目線の改革で未来に夢と希望を

富田林市は、自然と歴史に恵まれたふるさとです。
南北に流れる石川、歴史的に貴重な町並みが残されている
寺内町、雄大な金剛・葛城連峰を背景に緑豊かな丘陵と美
しい田園があり、自然景観にあふれています。

そんな富田林市も、他市への進学、就職、結婚など若い
世代の流出によって、子育て世代が減り、少子高齢化が進
んでいます。

活気に満ちた元気な富田林市にするため、今城かつひさ
君は立ち上がりました。皆が健康で生き生きとし、全世代
が安全安心に住み続けられるまちづくりを目指します。

まずは、笑顔あふれるまちづくりから。今城かつひさ君
は、富田林市のため、私たちの暮らしのため、私たちの声
を代弁し、前進し続けます。



今城かつひささんの突撃インタビュー!!

政治活動を始めたきっかけは?

富田林市で8年間、在宅での訪問介護と訪問看護に携わってきました。そのなかで様々な家庭環境があることを知りました。認知症介護や老老介護、ヤングケアラーの問題など、現状の在宅介護の支援では解決できない問題も起きています。また、自分も家庭を持ち子どもを育てていく中で、同じ団地や買い物先のスーパーに行っても同世代や若い人が少ないことに驚きました。この現状を打破するためには、自分たちの世代が立ち上がり、現状を変えていくしかないと感じたため、若者の先頭に立って富田林市を活性化していこうと決意しました。

富田林のこれからを見据え、志しているビジョンは?

いま国では「人生100年時代」と言われており、若者から高齢者まで、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくるのが重要な課題となっています。私は、この課題を解決する要となるのが健康寿命の延伸だと考えています。要介護になる人を減らすことで、高齢者も介護する世代の人も住み慣れたまちで、自分の好きなことが思い切りできる富田林にし、世代を超えて「笑顔あふれる」安心して住み続けられるまちづくりを目指します。

最後に熱い思いを一言!!

共働きの看護師として働くなかで、働き世代にのしかかる介護負担や子育て負担を身近に感じてきました。子育て経験や看護師として培ってきた現場の知識を活かして、介護負担、子育て負担を減らし、どの世代も安心して暮らせるまちづくりを目指します。

子育て支援を充実することで、富田林市の子育て世帯が増えれば、まちの活性化や税収に繋がります。

高齢者の活躍支援により健康寿命の延伸ができれば、ご本人の幸せはもちろん、介護世帯も安心して働くことができますし、介護費の抑制にも繋がります。

『子どもたちが未来に夢と希望を持てるように。』

『富田林が持続可能で、みんなが健康に
生き生きワクワクできるまちになるように。』

働き世代の抱える問題を身近に感じ取り、具体的な解決策を見つけていきます。

どうか、42歳、働き盛りの「今城かつひさ」にご支援賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

今城かつひささんのビジョン・提言は裏面をご覧ください